



盛大に 納涼会 開催 !!

72名の皆さんが参加 市内在住の早大新入生を招待

七夕飾りの短冊に参加者の願いを込めて・・・・・・・・

8月6日(土) 16時から東村山駅ビル、サンパルネ・コンベンションホールで納涼会が開催されました。昨年まで長い間、當間家の皆さんのご厚意で當間邸の広いお庭で実施してきましたが、今年は初めての試みで上記の会場で行いました。実施に当たって役員会であれこれと議論し、会場の雰囲気づくりのため、稲門会の幟旗を立てたり、七夕飾りの作成、稲門祭記念品販売コーナーの設置等を行いました。飲食は地元の「給食センター」にお願いしました。

今年は、稲門会の輪を少しでも広げたいとの思いから、今春、早稲田大学に入学した新入生を招待し、3人の学生が参加しました。また、例年通り早稲田祭実行委員会の現役学生3人も参加しました。その他東大和稲門会林会長、国分寺稲門会清水幹事長にもご出席頂きました。さらに残念ながら、この1年間に亡くなりになりました会員の奥様お2人にもご参加頂きました。

会の進行役は岡田副会長と滝来京子幹事。冒頭この1年間に亡くなられた会員および東日本大震災で犠牲になられた方のご冥福を祈って黙祷を行いました。開会に際し、小亀会長からも、東日本大震災の被災者の方にお見舞いの言葉が述べられ、被災者の心を思いながらも、これからのひとときを楽しく過ごしましょうとの挨拶がありました。藤澤大先輩の乾杯で開会。樽生ビールは今日の猛暑にピッタリ・・・・ぐいぐい杯はすすむ。差し入れのワイン・冷酒もピッチがあがりました。料理は給食センターさんがいろいろ工夫をして下さり、サンドイッチ・巻き寿司・焼きそば。またいま高値のスイカ、かき氷は夏の風情に合い好評でした。

余興は恒例となっている音楽同好会のみなさんによる演奏と歌唱披露、思い出の名曲の数々・・・そして今年90歳になられた富塚大先輩のウクレレ伴奏による「KA I MANA H I R A」に皆さん聞き入りました。

途中、司会の滝来さんから、七夕の短冊の紹介がありました。「東日本の大震災の被災地の皆さんが、一日も早く元の生活に戻れるように」「日本がもっと元気になるように」その他「健康」や平和を望む声が多く、なかには「株が上がりますように」との切実な声もありました。

最後に、井垣さんの指揮により「東村山稲門会の歌」「校歌」を震災を吹き飛ばすような元気さで、たからかに歌いました。最後に當摩副会長から閉会の挨拶があり、参加者への謝辞、新入生への激励、さらに、今後も稲門会の輪がさらに広がっていくよう努力したいと述べられ楽しい余韻を残しつつ散会しました。なお、早稲田祭実行委員会の皆さんからの支援のお願いには、約7万円の金額が集まりました。ご協力頂きました皆様に心からお礼を申し上げます。

(青山稔 記)



納涼会参加者（敬称略）

*会員及び家族

青山 稔、赤荻洋一、阿部 茂、井垣和太、池田 孝、市川彰彦、一色泰久、井手 巖、井原 徹、江藤昌明、大内一男、岡田一郎、小野浩一、小野 智、風間和夫、倉田哲也、小亀輝雄、小亀夫人、小菅 宏、小林 傳、坂本英夫、崎山裕子、重原真知子、高橋文子、高橋（文）主人、高橋正夫、高部素行、高鷺 近、滝川桜子、滝川正義、滝来京子、滝来洋二、田口政澄、田島隆夫、月森通夫、土橋雄次、當摩彰子、當間昭治、戸田志郎、富塚哲夫、豊田友吉、内藤 慎、長井 治、中村真弓、南湖修一、額田伊久夫、野田 数、野中昭夫、番場吉次、福田昇七、福田夫人、藤本継男、藤澤博恭、丸本聡明、三宅良太、守屋幸一郎、山崎光夫、山下邦康、山本岩男、吉田 勝

*ゲストほか

林 恒男（東大和稲門会会長）、清水 元（国分寺稲門会）、眞宅康博（国分寺稲門会）、川村弘史、奥山瑞恵、柴田裕子、早稲田大学新入学生3名、早稲田祭実行委員3名

会からのお知らせ

○ 平成23年10月 定例役員会

日時： 平成23年10月8日（土）13：00～14：30

場所： ふるさと歴史館・視聴覚室

役員会には会員の皆様はどなたでも参加できます。是非ご出席頂き、稲門会の活動等についてご意見をお聞かせください。

○ 第74回雑学講座

日時： 平成23年10月8日（土）15：00～16：30

場所： ふるさと歴史館・視聴覚室

講師： 荻野 晃氏（41年政経卒・元カネボウ広報部長・現日本マンパワー）（小平市在住）

演題： 「キャリアカウンセラーという仕事」

民間再就職支援や大学生就活支援などの仕事について、現在の日本の雇用問題を語っていただきます。

○ 校友会関連会議

9月24日（土）午後3時～幹事長・事務局長会議（井深記念ホール）

午後4時～代議員会（井深記念ホール）

當間昭治事務局長・當摩彰子副会長・高鷺近幹事・井垣和太さん出席予定

☆ 三多摩支部第1回会長会開催

8月26日（金）午後6時から三多摩支部の会長会が小金井商工会館で行われ、三多摩支部の会長・副会長等56人が集まり開催されました。当会からは小亀会長・當間副会長・當摩（彰）副会長が出席しました。平成22年度事業報告を前年度支部長の小亀会長が、森田東久留米幹事が会計報告を行い承認されました。続いて本年度支部役員の紹介があり、規定の一部改定も承認されました。会長会終了後懇親会が行われ、大いに懇親を深めることが出来ました。

本年度支部長には、亘理鉄哉（小金井稲門会会長）、副支部長は山賀 理（国分寺稲門会会長）の両氏が就任しました。なお、本年度三多摩支部大会は11月6日（日）13時から早稲田実業学校で行われ、小室哲哉さんのコンサート等が予定されています。

☆ 大学関係ニュース

78年ぶり早大出身関取誕生

大相撲秋場所（9月11日初日）の番付で尾車部屋の直江改め皇風（きみかぜ）が早大出身として78年ぶりの関取となった。皇風は明大中野高校から早大に入学したが、左肩を大けがし3年で相撲部を辞めたが、もともとの負けず嫌いで、中途半端で終わりとくなく角界に身を投じた。早稲田の大先輩大関笠置山を目指して頑張り、大学の名前をさらに大きくしたいと抱負を述べた。

納涼会に参加した「早稲田祭2011」運営スタッフの3人の学生から感想文が送られて来ましたので、ご紹介致します。



東村山稲門会 訪問の感想

運営スタッフ 渉外局 校友チーム
商学部2年 田邊理彩

先日はご訪問させて頂き、誠に有難うございました。我々運営スタッフは500人もの人員で様々な部署にわかれて活動しておりますが、渉外局の校友チームの一員として活動することに非常にやり甲斐を感じております。

それは、先日のように訪問させて頂くことで、早稲田大学の先輩であり、普段なかなかお話しを伺うことの難しい校友の皆様から、学生時代や社会人時代の思い出や、現役学生への激励のお言葉を直接伺うことが出来るからです。これは「早大生」全体の中でも、稀な機会だと思います。そして私個人、昨年から今まで様々な稲門会へ訪問させて頂いており、多くの校友の方々と交流させて頂いてきました。その中でもひとときわ早稲田への情熱と学生へのエールを感じたのが、今回の訪問でした。

ただでさえ、ご支援金のお願いという形で訪問させて頂いておりますのにも関わらず、皆様が暖かく接してくださり、感謝という言葉では表しきれないくらい、お礼の気持ちで一杯です。本当に有難うございました。

皆様からの応援のお気持ち、またご理解・ご協力に感謝し、ご期待に沿えるようこれからも早稲田祭に向けて日々活動していきたいと思っております。早稲田祭は過去に一部セクトの学生に牛耳られたこともありましたが、今後はそのようなことのないよう内部の啓発活動も行っています。小亀先輩から過去の早稲田祭のお話しをお聞きすることができ、運営スタッフの一人として大変参考になりました。貴重な機会を有難うございました。

まだ暑い日が続きますので、皆様お体にお気をつけてお過ごし下さい。

運営スタッフ 文化構想学部
3年 露崎 瑞樹

先日は納涼会へ参加させて頂き、有難うございました！東村山稲門会の皆様の温かいご支援やお言葉、大変嬉しく思いました。正直申し上げて、今まで生きて来て初めてお会いした方々にこれほどまでに温かい対応をして頂いたことはございません。今回の納涼会に参加できたことは「早稲田祭2011」運営スタッフ一員としてだけでなく、私個人の一生に残る思い出になりました。本当に有難うございました。

運営スタッフ 政治経済学部
1年 河口みなみ

今回は納涼会形式ということで、稲門会訪問は初めてでしたが、あまり緊張せずに参加できました。

とにかく皆さん本当に優しくかったです。早稲田祭の説明の際会長さんが補足として歴史とかを色々語ってくださったり、募金箱を持って廻る時も会長さんが私達に校友の方を紹介しながら、募金の声かけまでしてくださって本当にありがたかったです。

校友の方々は早稲田が本当に大好きだということがすごく伝わってきました。早慶戦の魅力、在学中どうあるべきか等いろいろなお話しを伺いました。

皆様が、私たちに積極的に話しかけてくださり、激励のお言葉もたくさん頂き、感銘を受けました。

初めての稲門会訪問が東村山で良かったです。また行きたいです。東村山稲門会の皆様、本当に有難うございました。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫
阿部 茂

TEL 309-3407
332-0298

今年は秋の訪れが早いとの長期予報を耳にしましたが、秋一番のウォーキングを企画しました。申し込み等不要ですので、当日ご都合のつく方はお気軽にご参加ください。

「曼珠沙華咲く御岳溪谷を歩く」

日時：9月19日（月曜、敬老の日）

集合場所と時間：東村山駅国分寺線ホームに9時30分集合（9時32分発に乗ります）

コース：東村山→小川→拝島→青梅→軍畑で下車し、多摩川の溪谷を御岳まで歩きます。

（スニーカーで問題なし、2時間半ぐらいの行程なので状況に応じて美術館見学するかも）

今年は秋が早そうなので、お彼岸前ですが曼珠沙華を期待しています。

川原で昼食にしたいので、お弁当をご用意ください。（拝島駅構内のコンビニでお弁当、おにぎり等売っています。買物時間を20分程度見ていますので、そこで調達も可能です。）

空模様が怪しい場合は、当日朝8時までに阿部までご連絡、ご確認ください。



第26回ウォーキング記（7月24日）

連日の猛暑にもかかわらず、当日は15名の参加者となりましたが、幸いにして薄曇でしのぎやすく、下山口の駅を出発して、荒幡富士への道をたどりました。日本一登りやすい富士山からは冬などの快晴時には本物の富士山から丹沢・秩父連峰まで見渡せるのですが、この日はスカイツリーを展望。そのあと鳩峰公園～久米川水天宮～将軍塚と木立の道を歩いて、正午過ぎに所沢駅に到着、解散となりました。

参加者：青山・阿部・小菅夫妻・小林・滝来夫妻・高橋・土橋・豊田・額田・町田・山本・吉沢夫妻（敬称略）

麻雀同好会

世話人 小野 智
松 永 常 尚

TEL 391-9523
332-5621

第54回大会を下記要領にて開催します。
尚、麻雀後の懇親会は丸藤にて行います。多数皆様のご参加（特に初参加）をお待ちします。

記

日時 9月25日（日）

集合 12時40分

開始 13時

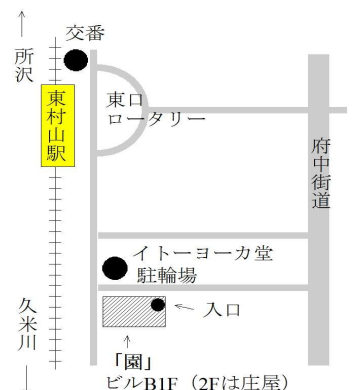
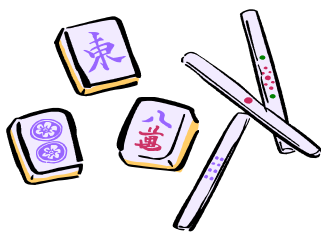
場所 麻雀サロン園 TEL 394-4444

東村山市本町2-1-15

（東村山駅東口下車徒歩2分）

会費 7,000円（懇親会込み）

締め切り 9月15日

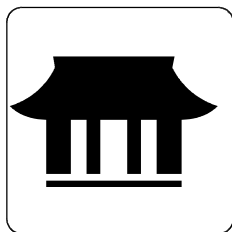


- （注）1. 場所は概略地図参照
2. 昼食は事前に各自済ませて下さい。
3. コーヒー、ソフトドリンクは無料、
但しアルコール類は各自払い。

郷土史の会

世話人 江藤昌明
伊藤友己

TEL 391-4076
398-1352



春に予定していた川越の散策を行いたいと思います。
喜多院や時の鐘、蔵造りの町並みなど小江戸と呼ばれた川越を歩いて
みたいと思います。

日程：9月18日（日）

集合：9時30分西武新宿線本川越駅改札口

見学予定は皆さんのご意見を集約して決めたいと思います。午前中に
喜多院や時の鐘のあたりを歩きたいと思っています。お昼を摂った後、
改めて午後の予定を確認しますので、午前中のみの参加もOKです。

ご希望をお寄せください。

園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子 TEL 396-3033



8月19日に、1月に球根を交換した、サギ草の開花株を持ち寄
って鑑賞会を行いました。今回はあいにく都合の合わない方が多か
ったため、参加人員は9名でしたが、それぞれが苦労して咲かせた
サギ草の可憐な開花株が集まりました。相変わらずの天候不順です
が、猛暑はもう当たり前なのかもしれません。急な低温や連続する
猛暑に負けない、新たな工夫が必要、と皆さんの意見が一致。要点
は日照と温度の注意深い管理となりましょうか。恒例の人気投票の
結果、1位 當摩、2位 高部さん、3位 當間さんとなりました。
また来年を目指して、皆さん、がんばりましょう。

次回は秋蒔き草花の苗の交換会です。11月の初旬を予定してお
ります。決まり次第、連絡します。多くの方の参加を期待してお
ります。

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



9月16日(金)20名の参加で秋季コンペを開催します。

第30回秋季稲門会ゴルフコンペが9月16日(金)西武園ゴル
フ場を舞台に下記のように開催されます。

記

集 合	8:00 (モーニングコーヒー有り)
スタート	8:35 ~ 5組 (20名参加)
プレー費	16,000円 (昼食付)
	70才以上利用税 (900円) 免除
	50Sメンバーはポイント適用
参加費	4,000円 (パーティー・賞品代)

知っ得ゴルフ 12番ホール ―ゴルフ用語―

「フェース、フェース」と先輩に言われてバンカーの中のW君、何を勘違いしたのか自分の顔を
ねじ曲げて肩をあごに埋める仕草。更に「もっと開け、開くんだよ。」に、今度は踏ん張っていた両
足を更に開いて股裂き状態に……。「クラブフェースを開いて打て」の見事な解釈に、居合わせた
筆者のフェースがクローズ。本当に有った話です。

ゴルフの規則集も「用語の定義」が48項目に亘り、「規則」の前に載っています。用語の意味を
知らなければルールも理解できませんよあなた。「ラフが深いからチンをぐっと引いて、アップライ
トに力強くスイングしてよお客さん。」

音楽同好会（稲穂会）

世話人

高橋文子

TEL

393-2676

井手 巖

391-6443



8月6日の納涼会におきましては、余興に出演させていただきました有難うございました。少しでも楽しんでいただけましたなら幸いです。これに先立ち、第27回例会を6月5日、第28回例会を7月23日、いずれも恩多ふれあいセンターで開催しました。

6月の例会では、みかんの花咲く丘、山のロザリア、箱根八里、山小舎の灯、高原列車は行く、誰か故郷を思わざる、南国土佐を後にして、悲しい酒、などを歌いました。これらの中で、「箱根八里」の歌に出てくるような難解な言葉は江藤さんが雑談混じりに説明してくださるときがあつて、これも楽しいひとときです。この回の参加者(敬称略)：井手、市川、江藤、岡田、小亀夫妻、木谷夫妻、滝川夫妻、三宅夫人、高橋夫妻の13人でした。

7月の例会では、納涼会の余興に歌う候補曲をあれこれ歌ってみました。われは海の子、浜辺の歌、高原列車は行く、夏の思い出、上を向いて歩こう、お嫁においで、長崎の鐘、憧れのハワイ航路、カイマナヒラ、夜霧のブルース、丘を越えて、東京ラブソディなどです。たくさん歌いましたが、この中でハワイ語で歌う「カイマナヒラ」は富塚さんに御指導いただき、納涼会の余興のハイライトにすることになりました。また、この日はお忙しい中、山村さんが昨年以來久し振りに参加され、今後も都合のつく限り参加したいとのことでした。参加者(敬称略)：富塚、井手、市川、江藤、重原、岡田、小亀夫妻、小林(伝)、木谷夫妻、高鷲、山村、高橋の14名。

◎ なお、次回第29回例会は10月2日(日)午後2時より、恩多ふれあいセンター集会室にて開催します。名曲がひしめく秋の歌や懐かしい歌謡曲などを楽しく歌っていきたいと思います。お問い合わせは世話人まで。

カラオケ同好会

世話人

内藤 慎

TEL

393-5071



8月例会は8月6日開催。納涼会に引き続き行い、井垣、高部、滝川、高鷲、南湖、内藤の各氏が暑さ何物かと元気に歌いあい楽しい一夜を過しました。年末の優勝大会目指し、皆さま頑張りましょう。

〈今後の予定〉

9月10日、10月8日、11月5日

19時10分 カラオケランド ズー (場所は同じです。)

俳句同好会（稲穂会）

世話人

井垣 和太

TEL

04-2924-2934



第57回は8月27日(土)、午後2時から「丸藤」で開催しました。

参加者は井垣稲雀、風間和夫、幸田瑞雄、小永井哲哉、高部糸行、内藤慎、丸本北窓の7名。投句参加は、栗島三郎、出田麦穂、小亀稲生、戸田梶、八木竜湖の5名。

兼題「新涼」を詠んだ句や、雑詠を一人あたり5句出句、合計60句の大量句を、3時間半の長時間にわたって、清記、選句、披講、合評と熱心かつ楽しい雰囲気の中で勉強しました。

互選の結果、4句が得点で並びましたが、参加者のサイドの鑑賞の結果、

つくばい

蹲 にこぼれてゆかし萩の花

北窓

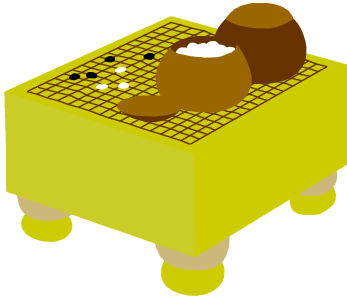
が選ばれました。

次回第58回は10月22日(土)午後2時から「丸藤」で開催いたします。

兼題は「柿」(甘柿、渋柿、富有柿、木守柿)です。

(稲雀 記)

囲碁同好会

世話人 福田 晃
高 鷲 近TEL 394-0593
394-2336

● 8月の「例会」を20日(土)、午後1時より、いつもの市民センター別館で開催しました。当日は「天候下り坂」との予報のためか、参加者はいつもより少なく9名でした。それだけに密度の濃い熱戦が展開されました。

<参加者／敬称略>一色・江藤・高橋(鶴)・高鷲・中川・野村・福田(晃)・丸本・八木

○「第23回東村山稲門会囲碁大会」を、次の要領で開催する予定です。まだ、会場の予約が終了していませんので、確定した日時・場所等は次号の『ニュース』でご案内します。ご予約おきください。

日 時 平成23年10月15日(土)、12時集合
場 所 市民センター 第六会議室



時のつぐのい

丸本聡明 (S31政経)

昨年9月、喜寿を迎えた。短命な家系に生まれ、早く死ぬものと覚悟していたから、戸惑いながら家人の祝福を受けた。ところが、十歳下の家人が、この4月、血液の病気で逝ってしまった。これは衝撃だった。

高校生のころ高田保に心酔し、彼の唱える「人類と猿類の間に女類がいる」を名言と思っていた。ところが、年をとるにしたがって疑問を持ちはじめ、近年は、「女性と男性と神仏の間に位置する」と信じるようになった。思うに、高田保の表現はレトリックだったのだろう。ともかく、自分に最も近い女性のひとりが去っていったのだ。

考えをあらためてから、家人には畏敬と報恩の念をもって接してきた。だが、いなくなってみると、気付かなかった価値がますます判ってくるとともに、精神的に深く繋がっていたことをしみじみと感じている。

嘆き悲しむ娘に、震災や津波の犠牲者、そして原発事故に関わる被災者の例をあげて、しっかりするように諭した。しかし、悲しみは個々人のものであって、第三者の話を持ち出しても通じないことが判った。分別を弁えているつもりでさえも、それによって慰められるものではなかったからだ。

そんなとき、ふと浮かんだのは時の流れという現象だった。「ゆく川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」は「方丈記」の冒頭だが、ここでの流れは時をあらわしており、人間の生活は、そこに生じたり消えたりする”泡のようなもの”というのだ。

昔、「光陰矢のごとし」とか「歳月は人を待たず」と教えられ、その大切さを「時は金なり」と観念づけられた。高齢になって、その教訓に忠実でなかったことを反省したが、今あらためて悟ったのは、時の正体の恐ろしい面である。これは性悪な意味での恐ろしさではない。何者も抗し得ないほどのすごい力を持っているということだ。

今回の震災で、人間の英知から生み出される力が、自然の力に太刀打ちできないことを厳しく教えられたが、時の力はそれらを凌駕するものである。

宇宙誕生よりこの方、時はすべてを押し流してきた。私の人生においては、小学生のとき経験した太平洋戦争。また、東京オリンピック、月面着陸、大阪万博、ベトナム戦争、冷戦時代とベルリンの壁の崩壊、ニューヨークの同時多発テロ、阪神淡路大震災と、人々にとって幸せなことも不幸なことも過去の出来事となってしまった。

東日本大震災はまだ生々しいし、先日のでしこジャパンの女子W杯優勝は、私たち日本人にとってこの上ない喜びだったが、やがてこれらも遠くへ流されていくだろう。

ただ、過去となって去っていくこのような大事件においても、そのときそのときに真剣に対処した人々の実績は、歴史として記録され、反省も含めて、思い出として語られるのだ。これは時の償いというべきものだろう。

家人の他界を、時の所業の一事象と捉えるとき、思い出されるのは同郷の詩人、薄田泣菫の小品である。「時はふたりをさきしかば その償(つぐの) ひにかへりきて かなしき創(きづ) におもいで うまし涙を湧かしめぬ」

このような時の世界との出会いによって、わが愛別離苦も軽減されるよう願っている。

同好会等 短期予定表											
同好会・行事	9月（ニュース掲載月）					10月（予定）					世話人 （問合せ先）
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	19	月	9:30	東村山駅集合		—	—	—	—		高橋正 042-309-3407
郷土史の会	18	日	9:30	本川越駅集合		—	—	—	—		江藤 042-391-4076
テニス同好会	5	月	7:00～9:00	運動公園 A		3	月	15:00～17:00	久米川コート3		田島 042-395-2817
	12	月	7:00～9:00	同上	予備日	17	月	9:00～10:00	同上	予備日	
	—	—	—	—		30(日)～31(月) 合宿			石和温泉(かんぼの宿)		
囲碁同好会	—	—	—	—		15	土	13:00～17:00	市民センター別館		高鷲 042-394-2336
カラオケ同好会	10	土	19:10～	カラオケランド'ズー		8	土	19:10～	カラオケランド'ズー		内藤 042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—		—	—	—	—		當摩 042-396-3033
麻雀同好会	25	日	13:00～	イトーヨーカドー隣サロン園		—	—	—	—		小野 042-391-9523
音楽同好会	—	—	—	—		2	日	14:00～	恩多ふれあいセンター		高橋文 042-393-2676
俳句同好会	—	—	—	—		22	金	14:00～	「丸藤」2階		井垣 04-2924-2934
ゴルフ同好会	16	金	8:35～	西武園ゴルフ場		—	—	—	—		井垣 04-2924-2934
雑学講座	—	—	—	—		8	土	15:00～16:30	ふるさと歴史館		當間 042-391-6023
—：対象月に開催予定無し　＊：ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。											

編集局だより

○今月から8面の行事の欄を模様替えしました。一覧表にしたことで同好会の開催日がより分かり易くなったのではないのでしょうか。今までは「あれ～何時からだっけ？どこに集まるのだっけ？」と紙面を繰って同好会だよりで確認したこともありましたが、これからはうっかり忘れてしまっても大丈夫。8面を見れば一目瞭然です。迷うことなく同好会に参加できますよ。文字が小さくなってしまったが難点なのですが、そこは何とぞご了承の程を。

○次号の原稿締め切りは9月22日（木）です。よろしく願いいたします。（中村）

fax：042-391-0581　email：mym-naka@u01.gate01.com



俳 壇

彼岸花じいじとなれず逝きし父 生ビール喉にしみいる生きてゐる	小亀 稻生
潮騒の抜けてくる路地星涼し 夕風に漁網繕いゐて夫婦	小永井 哲哉
新涼やコンビニの品入れ替る 芋の葉の揺れて水滴珠となる	高部 糸行
孫を待つクワガタの瓶玄関に せみ時雨ベンチの翁独りごつ	戸田 梟
政権の早期消滅流れ星 終戦日暑さざらざら偲び入る	内藤 慎
蹲にこぼれてゆかし萩の花 たそがれて訪ふ蟬と経を読み	丸本 北窓
魂の風になりたる墓洗ふ 走馬燈相も変わらぬ日を過ごす	八木 竜湖
新涼の季語の届かぬ残暑かな 涼しさを背に新しき闘病記	栗島 三郎
よそもの 他国者に西瓜叩かれ道の駅	井垣 稻雀
秋涼し雲小走りに峯伝う	出田 麦穂
新涼や目覚めの遅き朝続き 善人は皆先に逝き盆の月	風間 和夫
秋彼岸無縁仏に花と水 夕端居時を忘れし避暑の宿	菊田 一平
がむしゃらに突いて突き出す宮相撲 水暗く灯籠流しの岸洗ふ	幸田 瑞雄
送り火に暫しの寡黙家族かな 新涼や姫沙羅似合う朝の庭	幸田 瑞雄